

ケロちゃん通信

2018年1月 第31号



ながおか医療生協
あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1

電話番号 0258-36-5810

<http://www.nagaoka-iryou-seikyoku.jp/>

診療案内



受付開始：一般診療は午前8時30分、午後15時30分です。

☆一般診療

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。

予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。

付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。緊急の場合や、特別な相談がある場合には、まずお電話ください。

☆**予防接種、乳児健診**：スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください（2ヶ月後の予約までできます）。今まで通り、窓口または電話でご予約もできます。

☆専門外来

①**発達外来（第2・4火 13:30～15:30、予約制）** 小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。

②**アレルギー外来（第1・3金 9:00～12:00 予約可）**

アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいたします。（Web予約はできません）

☆生協こどもクリニックとも協力して診療を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

新年あけまして おめでとうございます。

☆皆様のおかげで開院してなんとか3回目のお正月を迎えることができました。昨年中はご利用いただきありがとうございました。本年度も気軽に立ち寄れる地域の「よろず相談所」を目指してがんばっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

☆インフルエンザも流行期に入りました。A型が多いですがB型も散見されます。アデノウィルス、溶連菌、感染性胃腸炎も流行っています。季節外れの手足口病もみられますが、うがい、手洗いで予防に心掛けてください。

☆昨年度は、インフルエンザワクチンの供給不足から皆様にご迷惑をおかけしました。1月中旬をもってインフルエンザワクチン接種は終了させていただきます。

☆待合室受付前の荷物置き場の下に、数冊発達関係の本を置きました。よろしければ、待ち時間にお読み下さい。

☆待合室での感染予防のため、感染症でない患者さんの待合スペースを増やしました。予防接種・専門外来待合室と赤ちゃん待合室を別にし、2室をご利用いただけるようにしました。限られたスペースですが、可能な限りの感染症予防を行っていききたいと思います。

1月の診療予定

・本間医師（5日午前・午後 19日午前）

・年末年始の休診日：12月30日（土）－1月3日（水）



銀杏の食べ過ぎには注意

☆お正月のおせち料理などで、銀杏を食べる機会が増える季節です。

☆以前、このようなお子さんを経験しました。

1歳半の女の子が、お母さんが銀杏の皮むきをしているそばで銀杏を食べていました。銀杏を食べるのは初めてで、お母さんは1、2個だと思っていました。その2時間後に女の子は嘔吐し、吐物に大量の銀杏が含まれていました。その後さらに2回嘔吐し、けいれんが出現し、けいれん後もボーッとしているため、救急外来を受診しました。発熱無く、血液検査や脳波でも異常ないため経過観察していましたが、翌日早朝にもけいれんがあり、銀杏中毒によるけいれんと考えビタミンB6の静注を行い、以後けいれんなく元気に退院しました。その後もけいれんはおこしていません。



☆銀杏は古くから薬用、食用として用いられており、戦後の食料難時代、銀杏を大量に食べて中毒が多発し、死亡例も報告されています。その後、食糧事情が改善し、このようなことはありませんが、毎年少数ですが、小児を中心に銀杏中毒が報告されています。

☆銀杏による中毒症状は、嘔吐とけいれんです。多くは6時間以内に発症し、けいれんは繰り返し認められます。原因成分は銀杏に含まれる4-methoxypyridoxine (4-MPN)という物質です。4-MPNはビタミンB6の作用を競合的に阻害します。ビタミンB6は、けいれんを抑制する抑制性神経伝達物質(GABA)の生成に必要なビタミンであり、これが阻害されるということは、結果的にけいれんを起こしやすくなります。4-MPNは加熱処理でも無毒化されませんので、炒ったり煮たりしても効果はありません。治療は通常の抗痙攣剤に加え、上記の理由でビタミンB6が有効です。

☆中毒を起こす量は、報告例では、小児では7-150粒、成人では40-300粒という大量摂取のことがほとんどです。しかし、軽症で病院を受診していない例も多いと思われますし、けいれんがあっても銀杏が原因と疑われなかった例も多いと思われます。

☆昔から言われている、銀杏は自分の年齢の数以上は食べないというのが原則です。とはいっても100歳の方が90粒食べてもいいというわけでもありませんが、最近はお正月でも銀杏をたべないことも多いですが、もしお子さんが食べる場合には2、3個程度にしておきましょう。

あたごこどもクリニック

